

## ごあいさつ

ふるさとを愛して、生涯を通して備後地域にとどまり、教育・学問・文芸で全国に大きな影響を与えた菅茶山は、江戸時代の18世紀末に宿場町・神辺に生まれました。

19才から6度に及ぶ京都遊学の後、「学種」(学問の種・学問を学ぼうとする若者たち)を育て、それぞれの地域に根付かせ、後世に続く人材を育てるために私塾・黄葉夕陽村舎、後の廉塾を開きます。

「誰もが平等に教育を受ける機会に恵まれるべきである。」という茶山の教育観は、現在にも通じる教えと言えます。藩や身分の枠を超えて学問を学ぶ機会を提供した結果、廉塾には全国から多くの塾生が集まるようになりました。

また、「当代一の漢詩人」と評され、塾の生活や神辺を中心とした農村に題材を求めた「黄葉夕陽村舎詩」は当時のベストセラーになりました。

茶山の漢詩を現代語訳し、詩のイメージを絵に描いて表現する「茶山ポエム絵画展」はその文芸を今に伝えていると言えます。

廉塾ならびに菅茶山旧宅は、塾舎や関係施設及び茶山旧宅が当時のままの姿で残る全国唯一の教育施設であり、1953年(昭和28年)に特別史跡に指定されました。

今後とも、この特別史跡の保存と活用について、御指導・御協力いただきますようお願い申し上げます。

最後に、保存活用計画の策定に御尽力いただきました委員の皆様をはじめ、文化庁、広島県教育委員会、菅家ならびに関係する皆様に心からお礼を申し上げます。

2017年(平成29年)3月31日

福山市教育委員会

教育長 三好 雅章